

真夏の夜の風物詩

吉野川まつり

五條の夏の風物詩、第36回吉野川祭りが8月15日、16日の両日、吉野川の河川敷を中心に行われ、市内外からたくさんのお客さんが訪れました。

大川橋付近の吉野川河川敷は、夕暮れとともにたくさんの家族連れや若者たちであふれ、夏を彩る恒例の花火大会では、二日間で三千発の花火が打ち上げられ、観客を魅了しました。

またダンスイベント「南都乱舞～みだれまい～」が開催され、近畿各地から16のダンスチームが参加。自慢のダンスを披露し、吉野川祭りに花を添えました。

上野公園で行われた少年野球大会では、明星子供会が優勝しました。



少年野球大会で優勝した明星子供会



南都乱舞～みだれまい～のダンス



夜空に打ち上げられる花火

手作り筏で吉野川下り

吉野川フェスタ2007かわっ子まつり

吉野川大川橋下流野原側で7月29日、「吉野川フェスタ2007かわっ子まつり」(吉野川活性化プロジェクト主催)が開催され、たくさんの親子連れでにぎわいました。また「手作り筏下りコンテスト」では、市内外の学生や企業、有志などで作る23チームが出場し、吉野川の約500メートルのコースを下り、パフォーマンスやタイムを競いました。そのほか、魚のつかみ取りなども行われ、川原には一日中子供たちの歓声が響きました。



みんなで川を美しく

吉野川マナーアップキャンペーン

奈良の大切な水源である美しい吉野川を守るため、五條市を含む奈良県内吉野川流域市町村で8月5日「吉野川マナーアップキャンペーン」が実施され、川原のゴミ拾いなどを行いました。

五條市では、吉野川大川橋付近の両岸が会場となり、吉野市長をはじめ市、県の関係者、市民などがキャンペーン用のTシャツを着用し、清掃活動に参加。「大事な吉野川をみんなで美しくしましょう」と呼びかけました。

